

ペンテコステの朝を迎えました。敬愛する先生方、兄弟姉妹と共に、礼拝をお捧げできる恵みに感謝いたします。「緑もえる」という言葉があるように、私たちの心に、聖霊の風が吹き渡り、魂を新たな賛美と生命に満たしてくださいますように。

### 聖霊体験を求めて

使徒言行録は、教会という信仰の共同体が誕生していった様子を記録しています。そこには、不思議な奇跡や、相互の奉仕、世界宣教への働きが記されています。

その原動力となった出来事が、今朝のペトロの説教でした。彼は生前のイエス様と共に過ごしていた頃は、度々失敗をし、十字架の受難では逃げ出しています。そんなペトロが、後にまるで別人のように、雄弁に語り、1日で3千人に洗礼を授ける伝道者となりました。彼を新しく生まれ変わらせたもの、それこそは聖霊体験でした。

信仰の覚醒を「私のペンテコステ」と呼ぶことがあります。自分自身の歩みを振り返ってみた時に、大きな節目となった出来事や体験、聖書の言葉などがあるでしょう。聖書は「求める者には聖霊を与える」と約束しています。信仰の覚醒を求めて祈る人には、神様がその確信を得る体験を与えてくださるということです。

ペンテコステは、この教会を築き上げた、諸先輩（聖書の使徒たちから、ホーリネスの偉大な先生方、そして肉声を知る先輩の兄弟姉妹までを含めて）たちの信仰を思い起こす時でもあります。その力の源は何だったのかを思い巡らす中で、自分自身が今何を必要としているかということもきっと見つけられることでしょう。

### 復活の証人

ペトロの説教の中で、「私たちは主イエスの復活の証人です」という言葉があります。聖霊体験が使徒たちに与えたものは「復活の主との出会い」でした。

それは、イエス様の「思い出」では得られない、人格的な出会いでした。確かに、ペトロはガリラヤからエルサレムまで、何年も共に寝食を共にしました。しかし、その時にはイエス様の本当の使命を、根本では全く理解できませんでした。それに対して、復活の主との出会いを果たしたペトロは、大胆に福音を人々に語る、主の証し人に生まれ変わっています。神の愛を本当に理解したペトロの姿がここに 있습니다。

かつて、「人気者イエス様の一番弟子」というステータスは、ペトロにとって何よりのプライドだったでしょう。しかし、それは主イエスの十字架と死によって、ビリビリに引き裂かれてしまいました。それに対して、「復活の証人」という新しいプロフィールは、主の愛に深く結ばれた喜びを証ししています。十字架と復活によって、罪も死も、どんな状況にも揺るがない、天国の光が、自分の魂に注がれる幸いを、ペトロは体験し、人々に語らずにはいられなくなったのです！